

第3回府中市本町保育所移転・新設・跡地活用事業者選定委員会会議録（要旨）

1 日時 令和5年11月17日（金）午前11時から

2 場所 府中市立中央文化センター 第2講堂

3 出席

[委員]

学識経験者3名

弁護士 掛川 亜季

早稲田大学名誉教授 小松 幸夫

武蔵野大学教授 山内 弘隆

[専門調査員]

一級建築士 松下 典央

[事務局他]

総務管理部次長（山田）

総務管理部財産活用課長補佐（舟山）

総務管理部財産活用課財産活用担当主査（三原）

総務管理部財産活用課財産活用担当主査（菊池）

総務管理部財産活用課財産活用担当（石井）

子ども家庭部保育支援課長（浦川）

子ども家庭部保育支援課長補佐（平澤）

子ども家庭部保育支援課支援計画係長（西井）

子ども家庭部保育支援課支援計画係職員（青木）

一般財団法人日本不動産研究所

4 公開・非公開の別

非公開

5 非公開とした理由

府中市情報公開条例第32条第2号における「不開示情報に該当する事項を審議する場合」に該当するため

6 内容

(1) 審査方法の説明等

(2) プレゼンテーション・質疑

(3) 意見交換、採点、集計

- (4) 優先交渉権者及び次点者の決定、講評
- (5) 審査結果の公表について
- (6) 今後のスケジュールについて
- (7) その他

【配布資料】

- 資料 1 プレゼンテーション・審査の概要
- 資料 2 プレゼンテーション・審査のタイムスケジュール
- 資料 3 提案審査採点表
- 資料 4 審査報告書(案)

7 内容

【事務局】 それでは、定刻でございますので、ただ今から「第3回府中市本町保育所移転・新設・跡地活用事業者選定委員会」を開催いたします。本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。改めまして、総務管理部財産活用課長補佐の舟山と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

はじめに、会議の開催の可否でございますが、府中市本町保育所移転・新設・跡地活用事業者選定委員会の設置等に関する規則第6条第2項に示す通り、委員3名のうち、(3名)が出席し、定足数であることから過半数に達しておりますので、本日の会議は有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。

次に、議題に入る前に、事務局より配布資料の確認をさせていただきます。

【事務局】 (事務局から資料について確認)

【事務局】 それでは以降の進行を委員長お願いします。

【委員長】 それでは、ここから私が進行をさせていただきます。円滑な議事進行にご協力をお願いします。それではまず、次第1の「審査方法の説明等」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 それでは説明をさせていただきます。
(事務局からプレゼンテーションの流れについて説明)

【委員長】 ありがとうございました。説明が終わりました。ご質問があまりし

たら、お願いいたします。

(質問なし)

特によろしいですか。はい。それでは本日の審査については、事務局の説明のように進めるということでもよろしくをお願いいたします。

それでは続きまして次第2のプレゼンテーション質疑に移ります。事業者のプレゼンテーションに先立ちまして、各委員におかれましては、事前に各提案について採点をいただいております。それぞれ各委員から提案の評価についてコメントをいただきたいと思っております。

【委員】 はい。採点表を出させていただいたのですが、まだこれからいろいろ話を聞く段階であまり事前に言わない方がいいとは思いますが、少し力の差みたいなものを感じる部分は若干あるかなと思っております。2者は近いかなと思うのですが、1者は少し落ちるかなという印象を持っておりますので、その辺を確認したいと思っております。

【委員】 はい。このような機会が初めてですので少し自信がなく採点をしておりましたが、今委員がおっしゃられたとおり少し力の差は見受けられるなと思えました。あと地域との繋がりといいますか、コンセプトについてどのような方向性をとるのが望ましいのかということについていろいろ考えさせられました。園舎の大きい小さいですとか、公共コミュニティ空間といったものをどのように設定するのがいいのかを悩みつつ、この後のプレゼンを聞かせていただきたいと思っております。以上です。

【委員長】 ありがとうございます。私は、1者が飛び抜けていて残りの二つは少し落ちるという印象です。この二つも項目によって優劣があるのですが、有り体に言えば4番の企業の提案書は、かなりきちっと書けていると思います。PFIの提案書はいろいろ見てきましたが、今回4番が普通以上のレベルになっていると思います。他の2者とは差があるなと感じました。それと、何が違うかという意欲のようなものが少し違うのかなと感じました。私の感想は以上ですが、何かありますか。大体みなさん同じような感想を持っていると思います。

それでは各社のプレゼンテーションに移りたいと思っております。事務局は定刻になりましたら提案者をご案内いただいてセットしていただくようよろしくお願いいたします。

【事務局】 一点事務局からよろしいでしょうか。

【委員長】 はい。事務局。

【事務局】 一点事務局からご報告をさせていただきたい案件がございますので、お願いいたします。A3 横の参考資料でお配りしているのですが、事業の実現性に係る提案についての横並びの資料をご覧いただければと思います。こちら受付番号4をご覧いただければと思いますが、4の下の方の工事監理業務に関する事例に関して、数字を赤字で修正しております。真ん中の列下の方3段目がございますが、当初は5事例だったのを3事例としております。今回は、この事業者に関して工事監理に関する事例について、事務局の方で実績を確認しているところなのですが、蓋然性としては確認できるものの実際それを裏付けるような資料というものが事前に提出がされなかったものでございますので、今回はこのタイミングで5例から3例とさせていただきますのでご報告いたします。以上でございます。

【委員長】 ということでよろしいでしょうか。蓋然性というか完全に間違っていたわけではないってことですね。それであればよろしいかということですけど。

それでは受付番号3の方に準備していただけてください。

(受付番号3 入場)

【事務局】 それでは受付番号3の皆様、準備の方お願いいたします。

(受付番号3 準備)

【事務局】 ご準備よろしいでしょうか。受付番号3の皆様どうぞお掛けください。それでは本日のプレゼンテーションにつきまして事務局から説明させていただきます。

【事務局】 (事務局から進行・注意事項を伝達)

【事務局】 それではよろしいでしょうか。それではプレゼンテーションを始めてください。

【受付番号3】 (プレゼンテーション・ヒアリングの実施)

(受付番号 3 退場)

【委員長】 それでは採点に移ります。プレゼンテーションいただいた受付番号 3 番の評価に関して、何かご意見あればここで情報交換、情報の共有も必要かと思いますがいかがでしょうか。

【委員】 さきほどのプランの話を聞いていて、正直に言って鉄骨造然とし過ぎているというか、事務所建築のやり方をそのまま、形を決めておいてその中に部屋を割り込んでいくという設計の仕方を明らかにされています。なので、そういう意味では、このまま実現してしまうと問題が結構大きいかなと私は思いました。いかがですか。

【調査員】 設計の方も、プラン上は色々な問題があるとわかっていましたが、思想もないのがわかりました。
あと事務局の方で事前のチェックをしている中で、道路後退 3 . 5 m しか取れてない状況で、本来 4 . 5 m なのですが、そこで提案者は問題ないというような回答をされている。おそらく 1 m も変わってくると、園庭が三角形の園庭であることもあり、多分面積が難しくなるのではないかということから、様々な計画のやり直しができるというのはかなり大きなところ です。建物自体にも大きな影響が出てくるのではないかなと思いますので、この受付番号 3 の事業者様につきましては、もし選定された場合は後々の計画が結構やり直しが出てくるかなと思います。このことから設計期間、事業期間というのは、またそこにも圧縮されてくるのではないかなと思います。

【委員長】 ありがとうございます。他に何かありますか。

【委員】 保育所については、具体的な活用のされ方というのをあまりきちんと理解してないのではないかなと感じさせられました。このままで計画されてしまうと使いにくい保育所となってしまうかと思いました。以上です。

【委員長】 はい、ありがとうございました。今のご意見を参考に採点していただくということになります。個人的には、慣れてないのかもしれないという感じをすごく持ちました。あと、住宅で 3 LDK とか 4 LDK を 1 4 戸っていうのはあまり良くないですね。

【委員】 発想が、少し古いかと思えます。

【委員長】 それでは、採点をお願いいたします。

(委員 採点)

【事務局】 午前の審査ありがとうございました。この後、お昼休憩といたします。午後の審査ですが、午後1時15分から再開したいと思しますのでよろしくをお願いいたします。

(昼休憩)

【事務局】 それでは定刻でございますので選定委員会を再開させていただきます。午後も引き続きよろしくをお願いいたします。では進行につきましては引き続き委員長をお願いしたいと存じます。

【委員長】 はい。それでは午後もよろしくお願ひします。事務局は提案者をご案内いただければと思ひます。

(受付番号4 入場)

【事務局】 それでは受付番号4の皆様準備をお願いいたします。

(受付番号4 準備)

【事務局】 準備の方はよろしいでしょうか。それでは本日のプレゼンテーションにつきまして事務局の方から説明をいたします。

【事務局】 (事務局から進行・注意事項を伝達)

【事務局】 それではよろしいでしょうか。それではプレゼンテーションを始めてください。

【受付番号4】 (プレゼンテーション・ヒアリングの実施)

(受付番号4 退場)

【委員長】 それではプレゼンテーションを受けて採点をお願いしたいと思いますが、先ほどもありましたように当該受付番号4の評価に関するご意見等あればご発言願いますいかがでしょうか。

【委員】 特にはないですが、かなり経験豊富な企業であるというのわかりますので、任せるとすれば安心して任せられるという気がしました。まだ次の企業があるのでわかりませんが。

【委員】 同じく、とても隙がないプレゼンテーションとプランだったなと思っております。

【調査員】 担当されている方も、企業全体としても非常にしっかりとした設計をしているのではないかと感じました。

【委員長】 やはり、こういう案件で利用者の方の目がかなり反映されている。そういう点でとても良かったのではないかなと思っています。それでは採点をお願いいたします。

【事務局】 それでは一旦ここで休憩とさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(休憩)

【事務局】 それではよろしければ、引き続きよろしく願いいたします。

【委員長】 それでは選定委員会を再開いたします。各社のプレゼンテーションに移りたいと思います。事務局は時刻になりましたら提案者をご案内していただければと思います。よろしく願いいたします。

(受付番号5 入場)

【事務局】 それでは受付番号5の皆様は準備の方お願いいたします。

(受付番号5 準備)

【事務局】 どうぞお掛けになってください。それでは本日のプレゼンテーションにつきまして事務局の方から説明いたします。

- 【事務局】 (事務局から進行・注意事項を伝達)
- 【受付番号5】 (プレゼンテーション・ヒアリングの実施)
- (受付番号5 退場)
- 【委員長】 それでは、先ほどと同じように今のプレゼン受付番号5の評価に関してのご意見あるいは情報共有があればお願いすることと、それから採点をお願いします。
- 【委員】 意外なところはなかったなというのが素直な感想ですが、可能性としてはあり得るかなというような印象ではございました。
- 【委員】 はい、本当に同じような感想ですが、やはりふれあい広場のことを相当強調して、アピールポイントとして置いているのだろうと思うのですが、それが成功するか否かというのが今の内容ではよくわからなかったなということが一つと、ふれあい広場の空間を取ろうとする結果もあるかと思うのですが保育園の園舎の中で安全性について少し懸念があるなと感じました。以上です。
- 【調査員】 保育所の計画としては先ほどの受付番号4とこの5は、非常に良いかなとは思っています。ただ質問させていただきましたが受付番号5については設計の思想というか保育所の使い方のところでのイメージが至っていないのかなと感じました。しかし作り方としては非常に良い形は作られていると思います。あと、あまりデザインに対しては今まで言ったことないのですが、全体的にこのエリアの開発という考え方の中で、このグループに関して言うと割と全体的なことを言っておられる割には住宅エリアと保育所のデザインがマッチしていないというのが感想です。善し悪しをここで評価するのはよくないですし好き嫌いがあるのですが、非常に重たいイメージがあるので少し全体的に重たくなる感じがします。
- 【委員長】 ありがとうございます。私は最初にこの提案書を見たときから、今日プレゼンを聞いてかなり印象が違ってよくなったと思います。ただ今おっしゃったパース、最初に出てきたときに保育所という感じではない、何か博物館のようなイメージを持ったというのは正直な感想です。では、採点の方お願いいたします。

【事務局】 それでは各委員の皆様につきましてはプレゼンテーションを受けまして採点の方をお願いしたいと思います。合わせてここでまた再度10分ほど休憩をはさみたいと思いますので、その間に採点も含めてお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

(各委員のプレゼンテーションを受けての採点状況を共有)

【事務局】 それでは委員長よろしくお願いいたします。

【委員長】 はい。それでは議事次第3「意見交換、採点、集計」につきまして、各委員からプレゼンを聞いて評価についてのご意見をいただきたいと思います。

【委員】 最初の印象と順番はあまり変わらなかったのですが、差がよりはっきりと出てしまったという結果になったと思います。まず1位は受付番号4番ですけど、設計のバランスも取れていましたし、考え方も非常にしっかりしていて、1位は当然かなという気はしました。受付番号5番ですが、意欲は非常にあるような気がするのですが、宅地と保育園とのバランスはあまりよくないと思います。そういう意味で受付番号4番というのは順当な結果かなと思っています。

【委員】 まず4番はとてもよく練られた構成ですし、具体的にこのエリアはどのようになっていきそうかというようなビジョンが描けているなと思いました。受付番号3番はこれを機としてまたいろいろ挑戦していただくといいのではないかなと思いました。受付番号5番の事業者は、なかなか意欲的だと思ったのですが、その意欲的な提案を支えるプランニングが十分出来切っていないので、これがより完成度が増したものになっていればより評価が高くなったと思うので少し残念だなと思っています。

【委員】 はい、皆さんおっしゃったことと全く同じだと思います。受付番号4番はよく練られているし、細かいところまで非常に気を遣っていますし、全体のコンセプトもわかりやすかったと思っています。それから利用者目線がかなり入っているところはこういう施設に対してとっても重要ではないかと思い、社会的にもやはりそういうところに重要性があると今言われているので、その点は評価すべきだと思います。それから5はさきほど言いましたが、私は提案書を見せていただいたときよりも評価が上がって、普通の提案になってい

ると思いました。ただ、私は建築は専門ではないので、その辺についてはまだ少し難があるのかなと感じています。コンセプトはしっかりと出しているので、それを求めているところの姿勢などは良かったと思うのですが、ただやはり4と比較すると、細かいところまでの配慮に十分追いついていけなかったかなと思います。

【調査員】 はい、私もPFIやデザインビルドのプレイヤーにも回り今回のように発表をさせていただきますし、逆に審査員側の方に回らせていただいてアドバイザーの立場で座らせていただくこともあるのですが、事業ですので、一枚岩になっているチームはやはり一番信頼があって強いというところがあります。その視点から言うと、先生方も言われておりますように、4番が最も一枚岩で安心してお任せできるのではないかなと感じました。保育所の計画では4も5もあって、最初に提案書を見せていただいたとき私自身は非常に迷ったのですが、今日のプレゼンテーションを聞かせていただいた上では、やはり4の方が優れているなと感じました。というのも園庭の作り方などが4も5もよく似ていまして非常に整形、綺麗な形でうまく保育ができるような形で作られていたのですが、やはり4の方が、これからいろいろと保育支援課がご相談されていく中では醸成されている形かなと思います。以上です。

【委員長】 ありがとうございます。今おっしゃっていたとおり、私も、きちんとチームがうまく意思疎通できていて一枚岩になっているのはとても大事なことで、ある意味そのためにこのヒアリングをやっているので、1回だけ答える方が代わったところがあったのですが、全体の統制は取れていたのかなと思っています。今回運営がないのですが、これに運営が加わってくると設計、施工、運営の連携がうまくできているかどうかがとても重要なので、今回もある意味では宅地と、保育園との連携を考えるとやはり一枚岩になることが重要だと思いました。

では手続き上は今の意見交換をした上で、自分がつけた点について修正を加える方がいれば修正するということですが、いかがでしょうか。

(修正なし)

【委員長】 では次にこれから資料4にある審査報告書を作るわけですが、この中には総評と審査講評二つあります。総評の方はある程度全体を

見まわしたお話になります。審査講評の中でどのような印象を持たれたか、あるいは優れているか優れてないか、優れてないということがあればですが。皆様のご意見いただいて構成することになります。なので、それについてお気づきの点を皆さんに言っていただきたいのですが、点数上は受付番号4番が優先交渉権者になるので4番についてだけということが良いですか。

【事務局】 それでは事務局からも少しご案内させていただきたいと思います。今委員長おっしゃいましたとおり、この順番によれば優先交渉権者は、受付番号4になると考えております。この受付番号4に関する優先交渉権者としての決定したことにに関して、こういった評価があったのか等に関しまして講評いただければと考えておりますので、お願いいたします。以上でございます。

【委員長】 これはお1人方ずつ言っていただくのもそうですし、気づいた点があれば追加で言っていただくことをお願いします。審査講評の構成については全グループについてコメントし、そのうえで最も点が良かったグループについて言及するやり方と、最も点数が良かったグループを示し、このグループの良かった点を記載するやり方がありますが、後者といたしますので第4のグループが良かった点について皆さんからいただき、このような理由で選定したというまとめ方にしたいと思います。よろしいでしょうか。

今回は4番のグループの良かった点を選定理由として挙げたいと思います。4番の良かった点を教えていただけますか。

【委員】 まず4番は木造ということ进行全面的に打ち出していて、これはサステナブルデザインという観点では、先駆的な取り組みをされているという意味でかなり評価できると思います。それと保育園のプランニングなどについても非常によく考えられているなと思います。特に遊戯室の扱いが非常に明快で、配置のバランスも非常にいいし、それから保育の考え方が小さい子どもを上へ持っていくというのは、私はその方が良いと思うところもあり3者の中では一番良い考え方だったのではないかなと思っています。それと少しデザインの言うところ、2階の両端の方にコンテナを見せているみたいな絵があります。トップライトというか、ハイサイドライトだと思うのですが、あれがとても違和感がありまして。ただ下から見えないから良いといえば良いのですが、両端に何か箱が乗っているような絵となっています。あれが何とかならないかというのは少し思っています。

すが、何とかなるだろうと思って何も言わなかったのですが、少しそこが不思議な印象は持っています。

【委員】 4番の事業者につきましては、まず先ほど申し上げましたとおりコンセプトがとても明確で、具体的なこの街区といいますか、保育所も含めた地域のビジョンが描きやすかったというところが一点です。それとも関連しますが、安全安心な運営ということを考慮した交通の動線などまでの確に配慮し、構想されているところもとても良かったと思います。保育所内部についても、配置の部分でいろいろ工夫していて子どもの発達の面や安全安心をきちんと配慮しているところは、大変好ましく思いました。

【委員】 私の方からは、コンセプトが明確だということと、よく練られているのが素晴らしいことだと思います。何度も言っていますようにやはり利用者の視点が加えられている点もこのグループのプラスの面として評価していいのではないかなと思います。あと全体的に私はデザインのことや、建築のことは全然素人ではありますが、素人から見るととても優しそうなの建物できてとても良いのではないかなと思っています。

さらには、リスク等について他のグループも書いてはいましたが、しっかりと内容を書いていたのはこのグループかなと思っています。なので、その点も評価すべきだと思います。

それから実施体制について、これは普通のPFIの提案書だと当たり前のことなのですが、少し比較して、他の一部のグループだと構成員のこのグループが全部引き受けますというようなことしか書いてなかったのですが、受付番号4だけは実施体制について図を用いて、このような形で階層を持ってやりますということを示すことができていました。そういうことでトータルとしても優れていたと思っています。

【調査員】 保育所跡地と今回の保育所の敷地一体開発の中で、住宅のデザインと、保育所のデザインが非常にマッチしていると言えるのではないかと思います。一体開発の中で、街並み景観のところは非常によくできていると思えました。それと保育所のプランニングですが、もう一つ付け加えますと、要は管理ゾーンと、保育エリアのゾーン分けが非常にはっきりとしているのがこのプランであり、わかりやすく使いやすいというのが言えるのではないかと思います。今回のこのプランはその他も非常にコンパクトに作られていると思いま

す。あと、さきほど先生が言われた、トップライトはいるのかというのが私も疑問です。もしここを選ばれたときは、あの造り方ではなくもっと違う造り方のトップライトを再検討いただけたらなと思います。トップライトはいいのですが、あの形は少しどうなのかと思います。私も設計者として言うならば、多分最後に出されたのではないかなと思います。場所も場所ですし最初から練られたトップライトではないような気がします。

【委員】 質問ですが、受付番号4は価格点が一番低いですが、金額が一番高かったということですか。

【事務局】 はい、建築、つまり保育園の建築の金額から土地売買価格を差し引いた額を今回評価する点数として、それを予定価格で割った金額に25をかけているという算定方法です。委員のおっしゃる通り一番金額が高かったのは受付番号4です。

【委員長】 さらに聞くと、具体的に建物整備について次のグループとの間にどのくらいの金額の差がありましたか。

【事務局】 受付番号3からそれぞれご報告いたします。まず保育所整備に係る金額について、受付番号3は、8億3,050万円、また受付番号4は、8億5,250万円、そして受付番号5は8億5,404万円となっております。

対して土地の売買価格、これは解体撤去工事費を差し引いた額でお示ししていますが、提案価格といたしまして、受付番号3は3億6,700万円、続いて受付番号4は、3億7,900万円、受付番号5は4億1,989万円となっており、結果といたしまして受付番号5の土地売買の方の提案価格が高いものが入っていたということが影響しているものと考えています。

【委員長】 この点が一番高いことになるわけですね。

【事務局】 はい。

【委員長】 まず建物デザインビルドについて、あまりみなさん異論は出ないのではないのでしょうか。そして跡地売却価格がこのようになるとすれば「なぜか」となるかもしれないですが、それに対してしっかりと説明できるようにしなければならないと思います。それが

ら PFI の場合は一番高いところを取るケースは多々あるので、事務局はその事例は手元にお持ちになった方がいいのではないかなと思います。それよりもやはりいい建物、いい施設を造っていただくということだと思います。他に何かご質問等よろしいですか。

では、事務局から報告があったように、採点結果から最高得点を取った受付番号 4 を優先交渉権者として、次点である受付番号 5 を次点の交渉権者とするということによろしいですか。

(異議なし)

【委員長】 はい、ありがとうございます。それで、先ほど言いましたが、総評があり講評があるという形にしたいと思っています。それで総評については案文を私から読み上げますので何かありましたらご指摘ください。「府中市本町保育所移転・新設・跡地活用事業選定につきましては、3 者に参加をいただきいずれも本事業に十分な技術力や体制を有しておりました。技術提案においては本事業の計画内容を十分に理解されており、優れた提案を行っていただきました。提案書に基づくプレゼンテーション、ヒアリングにおいても 3 者とも意欲的なプレゼンテーションと質疑への的確な対応を行っていただきました。短い期間にも関わらず、優れた提案を行っていただいた参加者皆様におかれましては選定委員一同より敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。」これを総評としたいということですがよろしいですか。

(異議なし)

【委員長】 これを総評とし、先ほど皆さんに言っていただいたことについてはまとめて審査講評に記述をするということで、事務局はまとまった時点で各委員に確認を取っていただく、それで公表ということになります。

それでは、議事次第 5 として、審査結果の公表について事務局ご説明をお願いいたします。

【事務局】 (資料 4 について説明)

【委員長】 ありがとうございます。提案で皆さんにご意見伺いたいのですが、先ほど審査講評についてご意見いただいたときに、建物についてどうかということがありました。よくあるのは、ここはこのよう

に良かったのだが、ここは少し改善してほしいと要望を書くというケースもあります。ですが、そこまでやるかどうかを伺いたいと考えています。

【委員】 いずれにせよ実際の設計に入る場合、変更が出くるので今の時点では不要だと思います。

【委員長】 よろしいでしょうか。ということで書かないということにしたいと思います。

では、これから先は事務局の方で進行してください。

【事務局】 はい、委員長ありがとうございました。それでは次でございますが、次第の7の今後のスケジュールにつきまして事務局の方から説明いたします。

【事務局】 はい、事務局から説明いたします。本日選定に関して皆様で審査をいただきました。本日以降、主に来週を目途に、本日の結果を各事業者へ通知してまいりたいと考えています。また、本選定委員会の結果を答申として委員長から市長に対してご報告いただきたいと思いますと考えております。また、1ヶ月ほど後に各委員にご確認いただいた審査結果報告書について、ホームページ上で公表いたします。合わせて優先交渉権者と基本協定に向け協議を行い、12月下旬にはこちらと基本協定を締結してまいります。今後のスケジュールについては以上です。

【事務局】 はい、それでは続きまして次第7ですが、その他でございまして委員の皆様の方から何かございますか。

【事務局】 それでは本日の日程についてはこれで終了です。皆様、本日は長時間にわたり、また本選定委員会につきましては2年間にわたり誠にありがとうございました。